

■効果の見える治水事業

徳島県 「大北地すべり対策事業」

徳島県西部総合県民局

県土整備部副部長 はらだ よしのり
原田 吉則



当箇所は、徳島県美馬市木屋平大北に位置する「大北地すべり防止区域」で、人家16戸や国道4,560m,市道6,400mなどがあります。

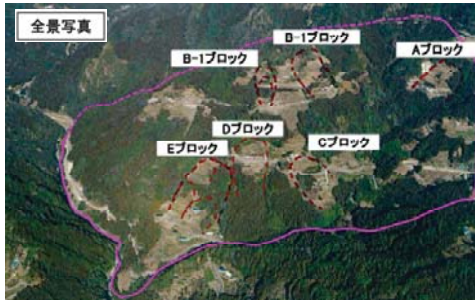
区域内では、平成21年8月に台風9号の豪雨によって、地すべりが発生し、市道が埋没する被害が出ました。その他にも、道路擁壁や民家施設に押出などの地すべり兆候が顕著に現れ、地すべり拡大の危険性が高かったため、平成22年度から地すべり対策事業による整備に着手しました。

本事業では、地下水を排除する横ボーリング工や雨水の浸透を防止する水路工など、地すべりを抑制する対策工を実施しました。これにより地すべり変動が沈静化したことから、平成25年度をもって概成いたしました。

近年は、自然災害が頻発し、本年度においても広島での土砂災害や御嶽山の火山噴火により甚大な被害が発生しており、社会的にも防災への意識が一層高まっていることから、今後とも、地すべりなどから住民の生命、財産を守るため、土砂災害対策にしっかりと取り組んでまいります。

【事業概要】

- ・事業名 地すべり対策事業
- ・事業費 80,000千円
- ・事業期間 平成22年度～平成25年度
- ・整備内容 排水ボーリング工 N=33本(ΣL=1,385m)
水路工 L=167m



だれもが住みたくなるまちをめざして

徳島県美馬市長 まきた ひさし
牧田 久



美馬市は徳島県の西部に位置し、西側がつるぎ町、三好市と、北側が阿讃山脈の山頂で香川県と、東側が阿波市、吉野川市、神山町と、南側が那賀町と接し、豊かな自然と数多くの文化財が残るまちであります。

四季折々の風情が美しい剣山や大滝山、竜王山などの山々に囲まれ、日本三大暴れ川の一つで四国三郎の異名を持つ「吉野川」や日本一の清流「穴吹川」が流れる風光明媚な街であるとともに古い商家のたたずむ「うだつの町並み」や歴史情緒あふれる「寺町」などに象徴されるように、古来より県西部の政治経済の中心地として栄えてきた地域であります。

剣山をはじめ吉野川、穴吹川は、普段は観光名所として、たくさんの観光客を集め、私たちの心に癒やしや安らぎを与えていますが、いざ出水時になると毎年のように河川の氾濫や地滑り、山腹崩壊が発生するなど地域住民にとって大きな脅威となっていました。

特に木屋平地域は、昭和50年、昭和51年の台風において、大規模な地滑りや土石流が発生し多数の家屋が流失、全壊するなど未曾有の大災害となりました。国や県の協力を得ながら、砂防堰堤をはじめ溪流保全工、床固工、護岸工など砂防施設の整備により、地域の機能回復と住民の安全確保を図りました。

また、最近多数発生している豪雨による土砂災害など、いつ、どこで発生するかわからない大規模災害に対し、各防災施設の整備のみでなく、人的組織の強化にも注目し、自主防災組織の結成や地域消防団との連携、各種防災機器の設置も併せて行うなど、まちぐるみでの総合力のレベルアップのため努力しているところであります。

今後も、各地域の危険区域の調査や実情の把握を十分に行い、地域住民の生命、家屋、生活を守るための砂防事業を注意深く慎重かつ迅速に進めていながら、対象地域の環境面にも配慮した事業を推進していきたいと考えております。

最後に、本市では美馬市総合計画を策定し、その基本構想では「四国のまほろば美馬市」を将来像とし、「共創・協働」を基本理念に掲げ、「だれもが住みたくなるまち」を目指し、行政と市民が一体となり様々な施策に積極的に取り組んでおりますので、関係機関の皆様におかれましては、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い致します。

